

謹賀新年



お正月の準備も万端
元町町内会でしめ縄づくり

Tohoku

2007
1月号

広報

とうほく

広報とうほく No.21

今月の主な内容

新年のご挨拶	2~4
叙勲受章	5
まちの話題	6~11
健康家族	12~13
お知らせ	14~24
戸籍の窓	25
わが家のアイドル	26

町長新年あいさつ



新しき春を迎えて

～新年と元気に

楽しく握手しよう～

ある散文詩より

東北町長 竹内 亮一

新年明けましておめでとうございます。

平素から行政に対する格別のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

冒頭の言葉は、野淵三治氏の「ある散文詩」の一節です。

また、新しい年がやってきたことを楽しく

考えようではないか

一つや二つの事でみると

或いは去年のほうがよかった

そんな事もあるだろう

然し総合的に考えると

今年の方がよいに

決まっている

一旦志した事は

必ずやり遂げよう

新年と元気に

楽しく握手しよう

新しき春を迎えて、また、この詩句を思い浮かべております。

私は、思いを新たに、町民憲章に定めております、先人の築

いた郷土に「やまいと誇り」をもち、いのち輝く豊かなふるさと

をつくるために、力強く歩んで参ります。

さて、昨年の経済、財政状況を振り返りますと、国内経済は、世界経済の成長に支えられて輸出が増加し、企業もバブルの負の遺産を処理し、財務体質や収

益力が大幅に改善され、景気の拡大期間が昨年十一月に「いざなぎ景気」を超え、戦後最長となっており。しかし、実感を伴わない外需主導型の景気回復であり、住宅、消費の本格回復までにはいたっておりません。今年度も緩やかな回復基調は変わらないと見られております。

一方、県内経済は、生産面や個人消費の一部に持ち直しの動きが見られるものの、総じて足踏み状態が続いております。特に原油高に伴う産業活動へのマイナス影響が、農業、商工関係をはじめとする県内各産業に及んでおり、燃料コスト、製造コストの上昇で県内各産業は、依然として厳しい経営を余儀なくされております。都市と地方の格差が拡大し続けており、その解消こそが、喫緊の課題であります。地方の活力繁栄なくして、国の活力繁栄なし、また、国と地方の税財政を見直す「三位一体改革」道半ばで地方の痛みとなっており。国は各自治体の改革の努力を顧みることなく、国の財政再建を優先させ、交付税の総額を削減する方向性に問題があり、今こそ、大幅な税財源を地方へ移譲するべきであると考えております。



多くの町民の方々が町民バスを利用しました

わが町は昨年、新たな町づくりをめざし、様々な施策に取り組んで参りました。
四月から「地域の足」となって、町民の心と心をつなぐ架け橋となつてほしい」との願いを込めて、東北地区で町民バスの運行が開始されました。
東北地区では、北総合運動公園を発着点に分庁舎や町老人福祉センターを経由して各集落を結ぶ六コースを設定し、自家用車を持たないお年寄りを中心に、平成十八年四月の運行開始から十一月末までの八カ月間で延べ三万五十一人（月平均三千七百五十六人）の町民の方々がバスを利用しており、多くの利用者からは、たいへん好評をいただいております。



1月から供用が開始される船ヶ沢棧橋

また、平成十五年度より運行している上北地区の町民バスについても、町内二路線を二往復するコースで運行し、四月から十一月末までの八カ月間で延べ二万九百四十八人（月平均二千六百十九人）の町民の方々が利用するなど、高い利用率を維持しております。
今後、町民の皆様のご足として愛着を持って町民バスを利用していただけられるように取り組んで参りたいと思っております。
また、棧橋の老朽化に伴い、建設が進められていた船ヶ沢分場の棧橋が昨年十二月末で完成し、一月九日より供用が開始される運びとなりました。

この棧橋は、恒久的なRC造で、幅五メートル、長さ百メートルとなっております。
この棧橋の完成により、九月から三月までのシラウオ、ワカサギ漁に関わる方々が安心して荷揚げ作業をすることができると共に、作業効率も大幅に向上されるものと期待しております。
さて、新しい年二〇〇七年は、さらなる飛躍の年となるよう、福祉、農林、建設、商工業などの地域産業の振興や行財政改革に積極的に取り組んで参ります。
具体的な施策としては、
①資源循環型農業総合センター整備事業
我が町の基幹産業は、豊かな自然の恵みを生かした第一次産業であり、その繁栄なくして、町の繁栄はありません。全国に誇れる安全・安心の食料供給基地をめざし、資源循環型農業総合センター整備事業を進めて参ります。
②上北中学校改修工事、甲地小学校改築工事
町内の各小中学校の老朽化が進んでおり、今年から、上北中学校の改修工事や甲地小学校の改築工事を進め、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めて参ります。

今こそ、地域の知恵と英知を集めて、その振興策に努め、何より、町民の皆さんが安心して暮らせる町、住んで良かったと思えるような町づくりをめざして取り組んで参りたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。
人と人、心と心をつなぐ道、坂村真民氏の詩の中に「一本の道を」があります。
木や草と人間と
どこがちがうだろう
みんな同じなのだ
いっしょうけんめいに
生きようとして
いるのをみると
ときには彼等が人間よりも
偉いときえ思われる
彼等はときがくれば
花を咲かせ、実をみのらせ
じぶんを完成させる
それにくらべて人間は
何一つしない
終わるものもある
木に学べ、草に習えと
わたしはじぶんに言いよかせ
今日も一本の道を歩いて行く
新しい年、平成十九年は、去年見た花よりも、今年見る花の
ほうが、大きく立派であつて欲しいとご祈念申し上げます、新年の
あいさついたします。



東北町議会議長
榎 館 長 吉

町政伸展のため
原点に立ち返って

新年明けましておめでとうございませす。町民の皆様には、健康やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

新しい町となつてから三年目、昨年は私も町議会議員の選挙があり十六名の議員が誕生いたしました。選挙では各議員の公約があり、また町民皆様からの多様な要望もございませす。当町の諸課題にどの様に対応すべきか。町の財政は合併時の見通しより一層厳しいものがあります。新東北町の町づくりは「みどりの大地と小川原湖に彩られたいのち輝くいで湯のさと」を将来ビジョンとして進められるわけですが、私も議会としても、

新しい文化、そして各地域固有の文化に光を当てながら、町民の皆様が希望をもつて安心して住める町づくりを愚直に発言を重ねて参つたところであります。さて、町の基幹産業である農業、兎に角元気がありません。稲作は、予想に反して出来秋は良に達せず、主要作物の長いも・大根等は価格低落で厳しいものがあります。また本年度は、新たな農業政策がスタート、戦後農政の大転換を迎えます。

町内の商工関係や小川原湖の漁業にも課題の山積が見られます。いずれにしても内外の政治・経済・社会情勢は誠に厳しいものがあります。町民の皆様方の信託とご期待に応えらるべく、私も全議員、議会人の本旨を肝に銘じ、原点に立ち返つて、東北町発展のために全力を傾注して参る所存でございませす。

本年も変わらぬご理解と、より一層のご指導ご支援の程を、お願い申し上げます。

結びに、町民の皆様方が幸せで心豊かな総り多き年を送ることが出来ますよう、心からお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。



東北町教育長
蛭 名 平 一 郎

新年への想い

新年明けましておめでとうございませす。

町民の皆様には、いい思いを胸に新しい年をお迎えのこと、衷心よりお喜び申し上げます。

さて、昨年は教育界に色々な風が吹きまくつており、当町の子どもたちはどうだろうかと心配している事と思ひませす。

今、学校は「安全で安心な学校」「喜びの歓声がこだまする楽しい学校」「心身澁刺として学びに目が輝く学校」づくりに向つて頑張つております。

地域の方々は、安全パトロール隊として余暇を見て、不審者に目を光らせ、ボランティアのおじいさん、おばあさんたちは、

子どもたちに昔を語り、本を音読させるなどといった活動をしております。この「育む力」が輪となり、支えとなつて拡がりを見せており、とてもありがたいことです。

こんな地域の思いやりや活動が、校長はじめ諸先生方を勇気づけ、今、学校はとても明るく輝いております。今、問題の「いじめ」などあまり心配しておりませすが、細心の注意を払わせており、職員室も一体感を持ち、意思の疎通がはかられ、いい雰囲気です。

私は、子どもの教育は、校長が輝き、先生も明るくなることで、子どもたちは元気に健やかな成長をとげ、学力向上につながると思つており、「校長がすべての出発点である」と激励し、頑張つてもらつています。

教育は、町づくりの基本、町民づくり、人材育成であると信念をもち、情熱を傾け、愛情あふれる教育行政に今年も挑戦します。

町民の皆様には、今年も教育へ関心を示していただくこと、ご協力をお願い申し上げます。新年への思いとします。

受章おめでとうございます！

小川寅悦さん 旭日小綬章を受章

秋の叙勲受章者が十一月三日付けで発表され、小川寅悦さん（夫雑原）が旭日小綬章を受章しました。

小川さんは、昭和六年二月十七日生まれ（七十五歳）。青森県酪農農業協同組合連合会会長や北部上北開拓酪農農業協同組



旭日小綬章を受章された小川寅悦さん（中）と妻の文子さん（右）

合長、らくのう青森農業協同組合長、青森県酪農協会会長などを歴任。平成十三年十月に全国開拓農業組合連合会会長に就任以来、現在まで、これまでに培った見識、旺盛な責任感と実行力をもって開拓組織の発展に努め、畜産を中心とした大型経営を基盤とした開拓組織の安定と発展に大きく貢献しました。会長就任当時は、

牛海綿状脳症（BSE）の発生直後で、畜産の危機的状況を突破するため奔走し、全国の開拓組織の結集を図り、開拓組織の先頭に立つて関係各方面に迅速な対応の確立を強力に働きかけ、開拓畜産経営の回復に大きく貢献しました。

また、自らも取り組んできた酪農について、生乳が過剰となっている酪農経営農家の経営安定のため、率先して関係機関・団体へ働きかけを行うなど尽力されました。

受章おめでとうございます！

川村要一郎さん 旭日単光章を受章

秋の叙勲受章者が十一月三日付けで発表され、元東北町消防団分団長の川村要一郎さん（向平）が消防功労で旭日単光章を受章しました。

川村さんは、昭和七年十二月二十日生まれ（七十四歳）。昭和二十九年に東北町消防団に入



消防功労で旭日単光章を受章された川村要一郎さん（右）

団以来、四十三年の永きにわたり常に職責を自覚研鑽し、消防人として努力を惜しむことなく積極的に職務遂行にあたり、町消防団部長や副分団長、昭和六十年四月から平成九年十二月まで町消防団分団長を歴任。現場での機敏なる行動と、状況を即座に対応する確かな判断力は、他の団員らの模範となるなど、町消防団の発展に多大な貢献をしました。

また、本部分団の分団長として、変化の激しい社会情勢に対応していくためには、何よりも団員の教育訓練が必要であると考へ、規律訓練、操法訓練、まとい振り等団員の教育訓練に率先して取り組みました。特に消防機器の操作訓練には、自ら陣頭指揮を執って定期的に出勤訓練を行うなど、団員の技術の向上及び士気の高揚に多大な貢献をしました。

まちの話題 Town's topics

身の回りで起きた出来事など、
新しい情報をお寄せください。
役場企画課 広報係 0176-56-3111 内線(233)



小川原湖の水環境について意見を出し合ったパネルディスカッション

小川原湖の明日を考えるフォーラム

小川原湖の恵みを明日に引き継ぐために…

「小川原湖の明日を考えるフォーラム2006」が十一月二十三日、町民文化センターで開かれ、参加者が講演やパネルディスカッションで小川原湖の水環境保全について考えました。

フォーラムは、国土交通省東北地方整備局高瀬川河川事務所が主催して行われたもので、町内外から約二百六十人が参加しました。

基調講演では、新川達郎同志社大学教授が「地域の連携・協働による小川原湖の環境保全」と題して講演し、「住民と関係機関が連携して保全活動に取り組むことが必要」と述べました。

続いて行われたパネルディスカッションには、嶋栄吉北里大学助教授、南哲雄東北地方整備局河川部長、三村三千代光星学院八戸短期大学客員教授、当町からは、竹内町長と山田美津雄NPO法人「アルキメデス」理事長の五人のパネリストが参加し、「小川原湖の水環境保全」についてそれぞれの観点から意見発表をしました。



小川原湖の野鳥について学ぶ子どもたち

討論では、全国の湖沼で実施されている水環境保全への取り組み例や資源循環型畜産などの高瀬川水系の環境保全の取り組みが紹介されたほか、「小川原湖の特性を生かしたオンリーワンの湖にするためにすべきことは何か」といった問題提起や「昔に立ち返って、自然とともに歩むことが大事」、「自分たちでできることから始めよう」などの意見が出されていました。

また、小中学生を対象に子どもセミナーが同時開催され、NPO法人「おおせつからんど」の関係者が、小川原湖の生態系や同湖に生息する野鳥について紹介していました。



「きれいな水を守るためには」をテーマに議論されたワークショップ

水循環ワークショップ きれいな水を守るためには

水循環システム再生・保全推進委員会高瀬川・奥入瀬川流域部会（部会長・小山田久上北地方農林水産事務所長）主催による水循環ワークショップが十一月二十三日、町民文化センターで行われました。

青森県では、将来にわたって安全で安心な農林水産物の生産が可能となる環境を整えるため、山・川・海を一体的に結んで、豊かな「水」の循環システムを守る取り組みを進めており、上北管内では、高瀬川などの小川原湖に注ぐ河川をモデル地区に設定し、重点的に支援を行っているところだ。

ワークショップでは「きれいな水を守っていくには」をテーマに、参加者が二つのグループに分かれ、北里大学獣医学部の嶋栄吉助教らが進行役となつて、意見交換が行われ、高瀬川流域における現状や課題について活発な議論が行われました。参加者からは、水環境を改善するために日頃行っていることや、対策として考えられることなど多数の意見が出され、個人個人が環境に対する意識を高め、専門家や行政制度を活用し、地元住民が主導で水の環境保全に取り組んでいくことが大事などとまとめられました。

よい年を迎えられますように 一人暮らし高齢者宅で安全点検

千曳地区安全づくり協議会（大久保武憲会長）は十二月二十日、千曳駐在所管内の一人暮らし高齢者宅を訪問し、家屋内の安全点検を実施しました。

これは、一人暮らしの高齢者の方々が安全で安心して新年を迎えられるように、毎年行っているもので、協議会の会員のほか、千曳駐在所員や交通・防犯指導隊員、消防団員らが訪問。

それぞれ点検が終わると「よいお年を」と声をかけ、カレンダーや反射材付きの手袋などを手渡していました。



家屋内の安全点検をする参加者

新年への思いを込めて しめ飾り作りに挑戦

公民館講座「しめ飾りづくり」が十二月二十二日、上北地区公民館で、町内から二十七人が参加して開かれました。

講座は、高松文男さんと小林繁さんを講師に迎えて行われ、参加者の皆さんは、講師の方のわらなう手さばきを見習いながら、それぞれに新年への思いを込めて縄をない、手作りのしめ飾りを完成させていきました。



手づくりのしめ飾りを手にハイポーズ

「実年式」

六十歳の集い

六十歳の男女を対象にした実年式が十一月二十六日、町民文化センターで約六十名が出席して行われました。

両地区の対象者が一緒に実年式を行うのは今回が初めてです。



実年式に出席した皆さん

式典では竹内町長が「これまでの経験を生かし、町づくりへ知恵をお願いします」と式辞を述べ、出席者を代表して米内山須佐男さんが「これまで培ってきた経験、知識、技術を生かし、社会貢献をしていきましょう」と決意を述べました。

式典終了後には、NPO法人「生涯学習ネットあおもり」理事長の藤井洋一郎氏による記念講演が行われたほか、祝賀会が行われ、久しぶりにあった仲間と話をはずませていました。



旧友と楽しいひととき

お仕事ご苦労様です。

園児が職場慰問



竹内町長を激励するハッピー保の園児たち

ハッピー保育園（竹内園長）の園児十三人が十一月二十一日、役場本庁舎を訪れ、竹内町長を激励しました。

これは、十一月二十三日の勤労感謝の日にちなんで実施したもので、園児たちは「お仕事ご苦労様です。これからも頑張ってください」と町長の似顔絵やプレゼントを手渡したほか、「いつも私たちのためにお仕事をしてくれてありがとうございます。私たちが本を読んだり、勉強をがんばります」と書かれたメッセージを手渡しました。

餅つきで近所の絆を深める 大人はじめ縄つくり

元町町内会（伊賀哲男町内会長）は十二月二十四日、同町子ども会の子どもを含む約三十人が参加し、神社に奉納する「しめ縄」づくりと餅つき会を集会所で行いました。

子どもたちによる餅つきは昨年に続いての開催。子どもたちは「よいしょ」のかけ声でリズムよく餅をつき、お汁粉やきな粉もちにして味わいました。

神社に奉納するしめ縄づくりは大人たちが担当、手分けしながら時間をかけて三本のしめ縄を完成させました。



みんなでもちつきを楽しみました



乙供明老会による「東北夢音頭」

東北・上北両地区の老人クラブが合併して初めてとなる東北町老人クラブ連合会主催の東北町老人芸能まつりが十二月十三日、町民文化センターで開かれ、約二百人の町民の皆さんが集まり、次々に繰り広げられる舞台を楽しみました。

舞台には、両地区から十二の老人クラブの会員の皆さんが、出演し、日頃練習している踊りや自慢の歌声を披露。会場からは、出演者に対して大きな拍手が送られていました。



旭町朝日三楽会による「寿ばやし」



100歳おめでとうございます

十月上旬の低気圧の影響で大量のゴミが漂着した小川原湖の環境を守ろうと地元市町村などで行く「高瀬川水系水質汚濁対策連絡協議会」と小川原湖漁協は十一月二十六日、湖周辺の一斉清掃を行いました。

小川原湖では、十月六日から十日かけて、台風並に発達した低気圧による大雨や強風の影響で戦後第二位の水位を記録。同湖に流入する河川から大量のゴミが流れ込み、湖岸に漂着した

小川原湖をきれいにしよう

湖周辺で一斉清掃

ものです。

清掃活動には、高瀬川河川事務所関係者や同漁協関係者、ボランティアなど約六百人が参加して、小川原湖周辺三カ所で行われました。

参加者は、湖岸に大量に漂着した空き缶や空きびん、ペットボトルや家庭用洗剤の容器などのゴミをゴミ袋いっぱい集めていました。



漂着したゴミを拾い集める参加者たち

東北町老人芸能まつり

舞台狭しと唄や踊りを披露

町では十二月八日、同日に百歳を迎えた内山トメさんに長寿祝い金を贈りました。

内山さんは一九〇六（明治三十九）年、七戸町生まれ。子供十人、孫二十三人、ひ孫三十人、やしゃご四人に恵まれ、十五年ほど前から「松風荘」に入所し、現在は七戸病院に入院しています。

贈呈式では、竹内町長が内閣総理大臣、県知事、町長名の顕彰状や長寿祝い金三十万円と花束を四男の結実穂さんに手渡し、祝福しました。

百歳を祝い長寿祝金贈る おめでとうございませす。

平成十八年度東北町連合PTA研究大会

学校を支え、保護者が楽しむ

PTA活動のあり方を探る

「子どもは地域の宝」ともに育む未来を拓く子どもたち」をテーマに平成十八年度東北町連合PTA研究大会が十一月十日、東北町コミュニティセンターで開催され、約百八十人の会員が参加して、子どもたちの成長のために望ましいPTA活動のあり方について学びました。



研究協議では学校での取り組みを紹介

会場では、はじめに表彰式が行われ、PTA活動に功績のあった方に感謝状と功労者表彰が贈られたあと、研究協議が行われ、第一小PTAが子どもと一緒に取り組んでいる米作り活動について、東北中PTAが生徒の学校生活充実をめざすPTA活動についてそれぞれ発表し、学校と家庭、地域が一体となった、社会状況の変化に対応したPTA活動の大切さを学びました。

続いて、ラジオパーソナリティーなどとして活躍している岡田照幸氏が「子どもの夢、親の願い」と題してピアノ演奏を交えながら、自分の子育て体験について講演し、会員たちは真剣に耳を傾けていました。

なお、表彰者は、次のとおりです。
(敬称略)

◆感謝状

- 廣野雅美（上北中学校長）
- 田中茂（蛭沢小学校長）
- 荒谷玲子（千曳小学校長）

◆功労者表彰

- 第一小・檜館房志、森野庄吉、内山真由美
- 甲地小・鶴ヶ崎年美、佐伯勝利、鶴ヶ崎春雄
- 水喰小・宮澤真由美、萌出大樹、荒木美鶴
- 上北小・蛭名武彦、鶴ヶ崎一敏、斗沢俊資、和田久美子、中村康人
- 上北中・甲地直美、野田雅幸、千曳小・岩清水真知子、永峯光浩、畠山真貴子
- 東北東中・鶴ヶ崎郁子、吹越光弘、沢居幸男
- 蛭沢小・本間勉、石田秋子、蓬畑進一、長尾薫、今給黎義人
- 小川原小・沼田徳仁、榊泰司、沼澤博行
- 東北中・北村幸彦、藤井稔、大杉秋子



功労のあった方々に感謝状と功労者表彰が贈られました

善意ありがとうございます

◎町社会福祉協議会へ
上北職業能力開発校（蛭名正泰代表）は十一月二十一日、東北町生き生きまつりで開催されたチャリティーバザーの益金五万円を寄付しました。



寄付金を手渡す蛭名代表（中）

上北地区シルバー陶芸クラブ（蛭名トキ代表）は十一月十三日、東北町生き生きまつりで開催した陶芸作品のチャリティーバザーの益金の全額一万円を寄付しました。

暮らしと健康を考える会（中根久美子会長）は十一月二十八日、東北町産業文化まつりで開催したチャリティーバザーの益金一万円を寄付しました。

第一回ナイターバレーボールリーグ戦

男子の部 上北ホームガス
女子の部 ピンクパンサー が優勝！

第一回ナイターバレーボールリーグ戦が十一月九日から十二月六日まで町民体育館で行われました。

大会には男女各十チームが参加。男女それぞれA・Bブロックに分かれてリーグ戦を行い、各ブロックの一位チームが決勝戦を行いました。

熱戦の結果、男子は(株)上北ホームガスが、女子はピンクパンサーがみごと優勝を飾りました。



男子の部 優勝 上北ホームガス

なお、大会の結果は次のとおり。(敬称略)

【男子】

上北ホームガス 忍者ハット

りくん 全日本

MVP・蛭名翔平(上北ホームガス)

【女子】

ピンクパンサー 上野 JI

NRO25

MVP・木村比登美(ピンクパンサー)



女子の部 優勝 ピンクパンサー

第一回B&G杯争奪バレーボール大会

男子の部 上北ホームガス
女子の部 ヤングママリンズ が優勝！

第一回B&G杯争奪バレーボール大会が十二月三日、北総合運動公園総合トレーニングセンターで行われました。

大会には町内在住の十八歳以上で編成された男女各六チームが参加してトーナメント戦で行われ、熱戦を展開しました。

熱戦の結果、一般男子の部は上北ホームガスが、一般女子の部はヤングママリンズがみごと優勝を飾りました。



一般男子の部 優勝 上北ホームガス

なお、大会の結果は次のとおりです。

◆一般男子の部

優勝 上北ホームガス

準優勝 上北ホームガス

三位 蛭沢分館

◆一般女子の部

優勝 ヤングママリンズ

準優勝 R

三位 カプチーノ



一般女子の部 優勝 ヤングママリンズ

上北中で赤ちゃんふれあい体験学習

育児の大変さと喜びを学ぶ



赤ちゃんに離乳食を食べさせる上北中生

上北中学校（廣野雅美校長）でこのほど、「赤ちゃんふれあい体験学習」が行われ、同校の3年生99人が赤ちゃんとふれあい、生命や性の尊さを学びました。

これは思春期の生徒たちに育児の喜びや命の大切さを知ってもらおうと毎年実施しているものです。生徒たちは、妊娠や出産についての講義や、人形を使った抱き方の練習をしてから赤ちゃんの世話に挑戦。赤ちゃんの母親からアドバイスを受けながら、手づくりのおもちゃで遊んだり、離乳食を食べさせたりしました。中には赤ちゃんに泣き出されてとまどう場面もありましたが、次第にコツをつかみ、楽しそうに赤ちゃんと触れ合っていました。

1・2月の健康カレンダー

問い合わせ先：保健衛生課
 東北町保健福祉センター 0175-63-2001
 上北保健福祉センター 0176-56-2933

事業名	実施日	実施場所	受付時間	対象者
乳児健診	1月26日(金)	七戸病院健康管理センター	12:50~13:00	・3か月児(全地区) (平成18年9月3日~平成18年10月6日生まれ) *対象者には個別通知します
	1月16日(火)	東北町保健福祉センター	9:30~10:00 13:00~13:15	・6か月児(東北地区) (平成18年6月・7月生まれ) ・9か月児(東北地区) (平成18年3月・4月生まれ)
幼児健診	1月23日(火)	上北保健福祉センター	9:30~10:00	・1歳児健康相談(上北地区) (平成17年12月、平成18年1月生まれ)
	13:00~13:15		・1歳6か月児健診(上北地区) (平成17年6月・7月生まれ)	
	1月30日(火)	13:00~13:15	・2歳6か月児健診(上北地区) (平成16年6月・7月生まれ)	
ほがらか教室	1月19日(金)	東北町保健福祉センター	12:30~12:45	・3歳児健診(東北地区) (平成15年6月・7月・8月生まれ)
	1月11日(木) 1月26日(金)	上北保健福祉センター	9:30~12:00	・40歳以上で自分または家族の協力で会場まで来られる方 ・初めて参加する方は保健師までご連絡ください。
	1月24日(水) 1月17日(水)	東北町保健福祉センター	10:00~14:30 10:00~12:00	・上記の方で美須々地区の方
ポテトクラブ(精神障害者の集い)	2月5日(月)	東北町保健福祉センター	10:00~14:30	・心の病気を治療中で社会復帰を目指している方、及び家族の方 (初めて参加する方は申請書等の提出が必要ですので保健師までご連絡ください。)
つつじ作業所	毎週月、火、木、金	中央公民館		

乳幼児健診・予防接種等をうける際は、母子健康手帳を忘れずにお持ちください。

健康家族

保健師 21



こんにちは保健師です



東北町保健師
大久保 恵子

今年の目標はなんですか？

新しい年になりました。

何となく身も心もリフレッシュしたような、清々しい気分で新年を迎えたことと思います。

さて、誰しも、「今年こそは…」と思うことがあると思います。その中で、健康に関する目標も何か決めてみたいraidかがででしょうか？

ただ今、保健衛生課では個別健康教育を展開中です。これは、疾病の特性や個人の生活習慣等を具体的に把握しながら、継続的に健康教育を行うことにより、生活習慣の改善を支援し、生活習慣病の予防をするものです。

高血圧・高脂血症・糖尿病・喫煙と、4種

類の予防教育をやっていますが、その中でも必ず出てくるのが、目標の設定、そしてそれに対する達成度です。「私は食べる量を少なくする」という目標の立て方よりも、もっと具体的に、ご飯の量は何gにするのか、間食に食べているリンゴは1回につきどれくらいにするのか等、詳しく決めるのが成功の秘訣です。また、必ず決めてほしいのが、「いつまで」という期間です。期間を決めておくことで、自分の達成度はどうかという評価をすることができるのです。目標の種類にもよりますが、短期間で達成するものと長期間かけて達成するものを分けて考えておくことよりいっそう効果があがること間違いなし！時々目標の立て方に無理がないかを見直すことも大切です。

今まで健診を一度も受けたことがない人は「今年は健診を受けてみる」でもいいかと思います。どんな小さいことでもいいので、今年も健康で元気に過ごすことができるよう何かひとつ健康目標を決めてみてはいかがですか？えっ？私ですか？私はさしずめ、産後についてしまった贅肉を2キロおとすことにしましょうか。期間は…手段は…。効果の程はいかに…。

ノロウイルスによる感染性胃腸炎にご用心

例年、初冬から春先にかけて、ノロウイルスによる感染性胃腸炎が多発しています。かかったかなと思ったらできるだけ早く医療機関で受診しましょう。

<感染性胃腸炎とは>

主な症状は、吐き気、おう吐、腹痛、下痢、発熱などで、かぜに似た症状です。人から人に感染しやすい特徴があります。

<予防方法>

トイレの後、料理の前、食事の前には石けんを使い、よく泡立てながら手と手をよくすり合わせて最後に流水で十分に手を洗うことが大切です。また、手を洗う時は蛇口も一緒に洗いましょう。タオルは清潔なものを使用し、共用は避けましょう。カキなどの二枚貝はノロウイルスを取り込んでいる可能性がありますので、十分に加熱してから食べましょう。

<発症した場合の注意>

発症したらできるだけ早く医療機関に受診しましょう。発症者の吐物や便の中には多量のウイルスが含まれ、感染が広がる可能性があるため、処理する際は気をつけましょう。

むし歯のない子全員集合!!

東北地区で11月17日に行った3歳児健診でむし歯のなかった子16人を紹介します。



柿崎 琴音ちゃん

☆歯みがき頑張るぞ。



小林 万倫ちゃん

☆広報に載りたくてパパが歯みがき頑張りました。



野田 咲桜ちゃん

☆仕上げみがきを頑張りました。



三國 拓真くん

☆毎日歯みがきを頑張りました。



市川 宇宙くん

☆仕上げみがきは、おと～さん。



及川 翔太くん

☆これからも歯みがき頑張ります。

東北町民綱引き競技大会参加チーム募集



◆期 日－2月18日（日）9時開会式

◆場 所－東北町北総合運動公園
トレーニングセンター

◆種 目

- ①一般男子の部【選手8名、交代選手2名】
- ②一般女子の部【選手8名、交代選手2名】
- ③中学生の部【男・女各4名、交代選手男女各2名】
- ④小学生の部【男・女各4名、交代選手男女各2名】

◆参加資格

- ①一般部門は、各町内会、各分館、同一職場、友人単位で高校生以上とし東北町民又は町内に勤務するもの。
- ②小学生・中学生部門は、各町内会、各分館、部活動、スポーツ少年団、子ども会単位とする。但し、保護者の同意を得ること。

◆競技方法

- ①種目別リーグ戦とする。（参加チーム数により変更あり）
- ②3本引きとし、2本先取とする。
- ③試合時間は30秒とする。

◆締 切－2月9日（金）

◎問い合わせ先－東北町教育委員会 スポーツ振興課

TEL0175-63-3500/FAX0175-63-4477

広報とうほく
クイズに挑戦

図書カードプレゼント

正解者の中から抽選で5名の方に「図書カード」をプレゼント！
あなたもチャレンジしてみましよう！

応募方法

☆ハガキに住所・氏名・年齢・電話番号と答えを書いて送ってください。応募の際、広報などについてのご意見もお待ちしております。

☆応募先 - 〒039-2492
東北町上北南四丁目32-484
役場企画課「クイズに挑戦」係
☆応募締切 - 1月25日（木）

今月の問題

Q1

秋の叙勲で、川村要一郎さんが受章したのは旭日単光章、では小川寅悦さんが受章したのは何章？（ヒントP5）

Q2

実年式の対象者は何歳？（ヒントP8）

Q3

平成18年度の申告相談は2月8日から何月何日まで？（ヒントP17~19）

12月号の答え

- ①国土交通省 ②28チーム
③火まつり競演

12月号当選者

- 松尾 恵子さん
○小林 祐介さん
○向井まち子さん
○富岡 節子さん
○小玉 眞美さん



20歳になったら
国民年金

国民年金には、日本国内に住む20歳以上60歳未満のすべての人が加入します。学生であっても20歳になったら国民年金に加入しなければなりません。

国民年金は、老後の生活をささえるだけでなく、万が一のケガや病気で障害が残ったり、生活を支えていた一家の働き手をなくした場合に、障害・遺族年金で私たちの生活をサポートしてくれます。

これらの年金を受けるには毎月の保険料を納めることが前提です。保険料の納め忘れがあるとこれらの給付を受けられない場合もありますので、便利な口座振替やお得な早割制度、前納制度を利用して納め忘れを防ぎましょう。

また、経済的な理由などで保険料を納めるのが困難な方は免除制度や納付猶予、学生納付特例制度がありますのでご相談ください。

詳しくはお住まいの市町村国民年金担当窓口またはお近くの社会保険事務所までお問い合わせください。

基礎年金番号は生涯一つ、
年金手帳は大切に

基礎年金番号は、年金に関するお問い合わせや年金を請求するときには必ず使用する、一人に一つの番号です。

初めて国民年金、厚生年金又は共済組合に加入した時に、あなたの基礎年金番号が記載された年金手帳または基礎年金番号通知書が交付されます。基礎年金番号は一生変わらず使用しますので、年金手帳は大切に保管してください。

詳しくはお住まいの市町村国民年金担当窓口またはお近くの社会保険事務所までお問い合わせください。

【移動年金相談】

- ◆場所 - 七戸町柏葉館
◆日時 - 1月24日（水）
11:00~14:30

【国民年金納付相談】

- ◆場所 - 東北町町民文化センター 研修室
◆日時 - 1月25日（木）
11:00~15:00

基礎年金番号通知書及び年金手帳、職歴のメモ等をお持ちください。

（年金相談も当日受付します。）

◎問合せ先

- 青森社会保険事務所
017-734-7495（代表）
町民課国民年金係
0176-56-3111（代表）
又は、0175-63-2111
本庁舎（内線153）
分庁舎（内線548）

平成19年度 保育所入所案内

◇**入所資格**…小学校就学前の児童で、両親が次のいずれかに該当し、また同居の親族も児童を保育することができない場合。

- ①家庭外で仕事をする場合 ②家庭内で仕事をする場合 ③出産で保育できない場合
④病気・心身障害の場合 ⑤病人・心身障害者の介護の場合 ⑥家庭の災害の場合

◇**募集期間及び受付場所**

*募集期間：平成19年1月4日（木）～平成19年1月31日（水）

*受付場所：各保育園（所）および、役場福祉課（本庁舎・分庁舎どちらでも可）

◇**必要書類**

- ①保育所入所申込書 } 各保育園(所)と役場福祉課に(本庁舎・分庁舎どちらにも)用紙があります。
②就労証明書 }
③平成18年度市町村民税課税証明書…平成18年1月1日現在、東北町以外に住所があった方は必要ですので、前住所地の市町村から取り寄せて下さい。
④源泉徴収票（平成18年分）のコピー…勤務先から取り寄せて下さい。

◇**入所期間**…平成19年4月1日から小学校入学前までの範囲内で、保育に欠ける期間。

※ただし、出産・就職活動中などの場合は、入所期間を限定します。

◇**選考方法**…定員枠範囲内は全員受け入れますが、定員を超える場合は継続入所児童を優先し、第2・3希望の保育園（所）への入所の場合もあります。最終決定は、3月中旬に通知します。

◇**広域入所**…保護者が仕事の都合上、特別の事情がある場合、他の市町村の保育園（所）を選択できます。

※ただし、定員に余裕があるなど、他市町村の承諾が得られる場合に限りです。

◇**途中入所及び継続入所**

*年度途中（4月以降）の入所は随時受け付けしますが、保育園（所）定員の枠内となります。

*現在入所中の児童が、引き続きその保育園（所）に入所する場合、次の書類の提出が必要となります。

- ①家庭状況調査書 } 各保育園（所）から配布されます。
②就労証明書 }
③源泉徴収票（平成18年分）のコピー…勤務先から取り寄せて下さい。

※その他詳しいことは、各保育園（所）及び、役場福祉課福祉係までお問い合わせ下さい。

役場福祉課 TEL0176-56-3111（代表）又はTEL0175-63-2111

▼分庁舎－福祉課本課（内線527）▼本庁舎－福祉課分課（内線141）

施設名	町内名	定員	設置主体（法人名）	電話番号
ハッピー保育園	旭町	90	栄光会	0176-56-2178
第二保育園	新町	90	上北拓心会	0176-56-2401
第三保育園	大浦	45	上北拓心会	0176-56-2291
小川原保育園	小川原	30	優希会	0176-56-3535
上野保育園	上野	70	上野福祉会	0176-56-5115
わかさぎ保育園	栄町	60	上北福祉会	0176-56-4011
さびしろ保育園	淋代	20	青松会	0175-68-2876
乙供保育園	乙供	60	乙供福祉会	0175-63-4056
乙供文化保育園	向旗屋	60	こぼと福祉会	0175-63-2544
カナリヤ保育園	甲地	70	甲地福祉会	0175-62-2971
千曳保育園	千曳	30	善隣会	0175-64-1558
中央ポプラ保育所	表町	70	長崎福祉会	0175-63-3173
ポプラ保育園	甲地	60	東北赤松福祉会	0175-62-2712
水喰保育園	水喰	45	さくら福祉会	0175-62-2639

所得税・住民税の申告相談のお知らせ

平成19年2月8日から3月15日まで、所得税・住民税の申告相談が行われます。

申告相談の際には、次のことに注意して忘れずに申告してください。

- ①申告相談に必要な書類は、事前に整理しておくとともに、その内容がわかる方がおいでになってください。
- ②都合により指定日に申告できない方は、日程表を確認の上3月13日から15日までの間に申告してください。
ただし、例年大変混み合いますので、待ち時間が長くなる場合があります。できるだけ、指定日に申告してください。

仙台国税局から所得税の申告書作成等の許可を受けているのは、3月15日までです。それ以降は、税務署で申告してください。

★申告に必要な書類等

- ①印鑑（所得税の振替納税を希望する場合は、預金通帳に使用している印鑑）
- ②生命保険料（一般用・個人年金用）、損害保険料の控除証明書
- ③国民年金保険料を納付した方は、社会保険庁発行の控除証明書又は領収証
（平成18年1月1日から12月31日までに支払った分です。領収証の場合、一括納付以外の方は、平成17年度と18年度にまたがっていますので両方持参してください。）
- ④医療費控除を受ける方は、領収証と明細書（領収証を個人別、病院別に仕分けし、明細書を作成してきてください。明細書は、本庁舎税務対策室、分庁舎税務課にあります。）
- ⑤給与収入・年金収入のある方は、源泉徴収票
- ⑥事業収入（農業・漁業・酪農・小売業・飲食業・理美容業・不動産業等）のある方は、収入金・必要経費がわかる書類を持参するとともに、その書類を科目ごとに仕分けし、あらかじめ集計して内訳書を作成してきてください。（内訳書は、本庁舎税務対策室、分庁舎税務課にあります。）
- ⑦確定申告書（税務署から送付された方のみ）
- ⑧預金通帳（還付を受ける方、振替納税を希望する方）

★申告しなくてもいい方

- ①給与所得だけの方で年末調整の終わっている方及びその扶養になっている方で収入のない方
 - ②税務署・税理士・青色申告・インターネット等で申告している方
 - ③生活扶助を受けている方等
- *所得・課税証明書の交付を受けたい方は、申告していないと交付が受けられない場合がありますので、注意してください。

◆待ち時間の短縮にご協力をお願いします。

申告相談は例年大変混み合い、待ち時間も長くなりますので、次の点に留意し、待ち時間の短縮にご協力をお願いします。

- ①医療費控除を受ける方は、領収証を個人別、病院別に仕分けし、あらかじめ集計して医療費の明細書を作成してきてください。
- ②事業収入（農業・漁業・酪農・小売業・飲食業・理美容業・不動産業等）のある方は、関係書類を科目ごとに仕分けし、あらかじめ集計して内訳書を作成してきてください。
- ③医療費の明細書や事業の内訳書をあらかじめ作成していない場合は、申告会場にてご自分で仕分け・集計していただく場合がありますので、注意してください。

★問い合わせ先

東北町役場 TEL0176-56-3111（代表）または0175-63-2111

▽分庁舎-税務課（内線516）

▽本庁舎-税務対策室（内線112）

平成 18 年 分 申 告 相 談 日 程 表

(上北地区)

★ハガキでの申告の案内はありません。忘れずに申告しましょう。

会場：東北町役場本庁舎（旧上北町役場） 3階大会議室

時間 午 前 9：00～12：00
午 後 1：00～ 4：00

月 日	曜日	午 前		午 後	
		地 区 名	(世帯番号)	地 区 名	(世帯番号)
2月 8日	木	花向町・豊田・栄沼		新 町	(22- 1～160)
2月 9日	金	新 町 (22- 161～)			
2月13日	火	栄 町 (下)		栄 町 (上)	(30- 1～100)
2月14日	水	栄 町 (上)	(30- 101～)	旭 町 (上)	(25- 1～50)
2月15日	木	旭 町 (上)	(25- 51～)	旭 町 (下)	(26- 1～100)
2月16日	金	旭 町 (下)	(26-101～200)	旭 町 (下)	(26- 201～)
2月19日	月	南 町 (24- 1～150)			
2月20日	火	南 町 (24- 151～)			
2月21日	水	本 町			
2月22日	木	新 山 (11- 1～100)			
2月23日	金	新 山 (11- 101～)			
2月26日	月	沼 崎 本 村		向 山	
2月27日	火	上 野 (上)			
2月28日	水	上 野 (下)			
3月 1日	木	上 野 (南)			
3月 2日	金	新 館 ・ 赤 平		八 幡	
3月 5日	月	戸 館 (午前中のみ)			
3月 6日	火	大 浦			
3月 7日	水	徳 万 才			
3月 8日	木	中 岫 平 ・ 才 市 田		大 洞 ・ 境 ノ 沢	
3月 9日	金	小 川 原 (南)		小 川 原 (北)	
3月12日	月	菩 提 寺		虫 神	
3月13日	火	上 記 の 日 程 で 申 告 で き な か っ た 人			
3月14日	水				
3月15日	木				

※ 受付日時等の指定をしておりますが、当日の混み具合に応じて、再度のご来庁をお願いする場合がございますので、その際はあしからずご了承下さい。

※ 平成17年3月31日以降に転入・転居・世帯分離した方は、表中の世帯番号は気にせず、該当する地区名の相談日（該当する地区が数日にまたがっている場合はそのいずれかの日）にご来庁ください。

平成 18 年 分 申 告 相 談 日 程 表

(東北地区)

★申告相談送迎用バスは、廃止いたします。町民バス等をご利用ください。

会場：東北町コミュニティセンター 2階集会室

時間 午 前 9：00～12：00
午 後 1：00～ 4：00

月 日	曜日	地 区 名
2月 8日	木	宇道坂・添ノ沢・石坂・湯沢・上清水目・下清水目・上板橋
2月 9日	金	北栄・林口・長者久保・豊ヶ丘・下板橋・南平・夫雑原
2月13日	火	千曳・石文・大平・トキワ・向平
2月14日	水	横沢・淋代・数牛・豊畑・豊瀬
2月15日	木	美須々・柵 (午前中のみ)
2月16日	金	水喰・豊前・中村・浜台
2月19日	月	細津・萌出・切左坂・野田頭・五十嵐・大池
2月20日	火	長久保・御料・狼ノ沢・漆玉・土橋
2月21日	水	甲地
2月22日	木	滝沢・旭・豊栄・田ノ沢・郡山
2月23日	金	巴蘭・徳万館・蒼前
2月26日	月	鶴ヶ崎・舟ヶ沢・蓼内
2月27日	火	乙部・朽木・輝ヶ丘・寒水
2月28日	水	内姥沢
3月 1日	木	外姥沢
3月 2日	金	保戸沢
3月 5日	月	上畑・大旗屋・向旗屋・大向旗屋・塔ノ沢・千代畑
3月 6日	火	坂下町・明美・緑町
3月 7日	水	乙供元町・馬込・朝日団地
3月 8日	木	乙供新町・桜木町・表町
3月 9日	金	乙供栄町・館花・みどりヶ丘団地
3月12日	月	乙供本町・公園団地・空自団地
3月13日	火	
3月14日	水	上記の指定日に申告できなかった人
3月15日	木	

* 申告相談日程表の案内については、本広報紙掲載のみとなりますので、なくさないように保管してください。

十和田税務署からのお知らせ

1 平成18年分の確定申告書の提出期限

【所得税】

平成18年分の所得税の確定申告は、平成19年2月16日（金）から同年3月15日（木）までです。ただし、還付申告の方は2月15日（木）以前でも申告書を提出することができます。

【消費税及び地方消費税】

個人事業者の平成18年1月1日から同年12月31日の課税期間に係る消費税及び地方消費税の確定申告は、平成19年4月2日（月）までです。

3月に入りますと、税務署は大変混み合います。申告はお早めにお済ませください。

2 確定申告書の作成・提出方法

申告書はご自分で書いてできるだけお早めに提出してください。申告書は郵便や信書便による送付でも提出することができます。また、自宅やオフィスから、インターネットで申告や納税ができる「e-Tax（国税電子申告・納税システム）」も是非ご利用ください。

国税庁ホームページでは、個人の方の確定申告書等の作成ができる「確定申告書等作成コーナー」を開設しています。「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータは、直接e-Taxに送信することもできます（事前手続きが必要です）。申告書の作成には是非こちらをご利用ください。

3 平成18年分の所得税・消費税及び地方消費税の納期限

	現金納付（納期限）	振替納税（振替日）
申告所得税	平成19年3月15日(木)	平成19年4月20日(金)
消費税及び地方消費税	平成19年4月2日(月)	平成18年4月26日(木)

4 納税には便利かつ安全で確実な振替納税をご利用ください

「申告所得税」「消費税及び地方消費税（個人事業者）」の納税には、振替納税をご利用ください。ご指定の口座から振替日に自動的に引き落としされますので、納税の都度、金融機関（銀行、郵便局等）へお出かけになる必要がありません。また、一度手続きされますと、翌年以降の手続きは不要です。

手続きについてのご相談は 十和田税務署 管理徴収部門（0176-23-3152）まで。

5 所得税法が変わりました

【寄付金控除の改正】

寄付金控除について、適用下限額が5千円（改正前：1万円）に引き下げられました。

【定率減税額の引下げ】

定率減税の額について、所得税額の10%相当額（改正前：20%相当額）に引き下げられました。なお、10%相当額が12万5千円を超える場合には12万5千円となります。

◎詳しくは、十和田税務署（TEL0176-23-3151）にお尋ねください。

法人県民税・法人事業税の電子申告について

県では、平成18年から地方税電子化協議会が運営する地方税ポータルシステム（通称「eLTAX：エルタックス」）を利用して、インターネットによる法人県民税・法人事業税の申告受付を開始しました。

- 利用できる手続き - 法人県民税及び法人事業税の申告手続き
- 利用できる方 - 納税者（法人）及び代理人（税理士等）
- 電子申告の特徴 - 無料でダウンロードできるeLTAX専用ソフト「Pcdesk」等で申告書の作成や申告手続きができます。
- 利用するには - eLTAXで利用届出を行ってください。また、初めて利用される場合は、あらかじめ「電子証明書」の取得が必要です。なお、利用届出後、実際の申告ができるまで数日かかります。詳細についてはeLTAXホームページ <http://www.eltax.jp/> をご覧ください。
- ◎問合せ先 - 十和田県税事務所課税課 0176-22-8111（内線207）

平成18年分消費税及び地方消費税確定申告説明会の日程について

開催月日	開催時間	対象者		会場
2月2日(金)	10時～12時	消費税課税事業者	一般課税適用者	十和田市南公民館
	13時30分～15時30分	消費税課税事業者	簡易課税選択者	十和田市南公民館

- 1 説明会においては、平成18年分消費税及び地方消費税の申告書の作成方法等について説明します。
- 2 対象者には案内を差し上げておりますが、案内されていない方でも出席いただけます。上記説明会に関するお問い合わせは、十和田税務署個人課税第1部門までお願いします。
0176-23-3153（直通）

今年もラクに済んじまった！

イータス ベンキー

自宅でオフィスで！税理士事務所でも！
どこでも申告・納税
e-Tax
最新電子申告・納税システム

さあ、あなたもネットで！ www.nta.go.jp

確定申告	所得税・贈与税・事業税・住民税	個人事業者の消費税・地方消費税
	3/15(木)まで	4/2(月)まで

○申告と納税は期限内に。 ○納税は便利な振替納税で。 ○還付金の受取りは口座振込で。

平成18年分の確定申告で初めてe-Taxをご利用される方へ
e-Taxをご利用される場合は事前準備が必要です。お早めに、開始届出書をご提出ください。

所得税の申告に利用する場合 2月中旬ごろまで。
消費税の申告に利用する場合 3月上旬ごろまで。

税務署・都道府県・市区町村

総合相談

1月16日・2月6日

- とき - 10時～12時
- ところ - 役場本庁舎
2階休養室
詳しくは役場福祉課まで
お問い合わせください

住宅リフォーム 相談窓口設置

町では、平成18年12月1日より住宅リフォームによるトラブル等に関する相談窓口を役場建設課（分庁舎）に設置しましたので、お気軽にご相談ください。

◎問合せ先－東北町役場建設課建築係
TEL0176-56-3111（代表）
又は、TEL0175-63-2111
内線648

十和田東病院・十和田東クリニック

送迎バスを運行しています！

十和田東病院・十和田東クリニックでは、東北町（旧上北町・旧天間林村）方面の送迎バス（1往復）を毎週木曜日に運行しています。ぜひご利用ください。

なお、バスの停車場所及び時刻表など詳しくは下記までお問い合わせください。

◎お問合せ先－十和田東病院 TEL 0176-22-5252
十和田東クリニック TEL 0176-22-0011

青森県産業別最低賃金改正のお知らせ

産 業	時間額	発行日
鉄 鋼 業	730円	平成18年12月21日
電気機械器具、情報通信機械機具、電子部品・デバイス製造業	672円	平成18年12月21日
各種商品小売業	667円	平成18年12月21日
自動車小売業	705円	平成18年12月21日

※上記の産業以外は青森県最低賃金（時間額610円）が適用されます。

※最低賃金に関するお問合せ先
青森県労働局賃金室 TEL017-734-4114

又は最寄りの労働基準監督署まで
※詳細は、青森労働局のホームページ

（<http://www.aomori.plb.go.jp/>）でもご覧いただけます。

中部上北広域事業組合消防本部から救命講習会開催のお知らせ

あなたも"AED"の操作法を学んでみませんか？

心臓が停止している状態の人に、電気ショックを与える"AED"という器械が一般の方でも使用できるようになりました。今後、公共施設等にも設置されることが予想されます。

開催日時	受付場所	受付期間	募集人員	問い合わせ
平成19年2月4日(日) 13:00～16:00まで	中央消防署	平成19年1月1日～1月31日	50人まで	中央消防署 0176(62)3141
平成19年2月11日(日) 13:00～16:00まで	上北消防署	平成19年1月1日～1月31日	30人まで	上北消防署 0176(56)2119
平成19年2月18日(日) 13:00～16:00まで	東北消防署	平成19年1月1日～1月31日	30人まで	東北消防署 0175(63)2520

- ※受講人員は、募集人員になり次第締め切らせていただきます。
- ※受講対象者は、中学生以上の方になります。受講料は無料です。
- ※受付は、各消防署窓口で行ないます。尚その際、申込書に記入していただきます。





公立小川原湖青年の家 真冬の野外体験

- ◆ 期日 - 2月17日(土)
~ 18日(日) 1泊2日
受付: 17日13:00~13:30
- ◆ 場所 - 小川原湖青年の家及びその周辺
- ◆ 主な内容 - スキーハイキング(歩くスキー)、ナイトショー(マジック)
- ◆ 募集人員 - 一般50名(中学生以下引率者必要)
- ◆ 参加費 - 2,500円
(保険料500円含む)
- ◆ 持ち物 - スキー一式、防寒具、着替え、室内用ズック、洗面用具
貸出用スキーもありますが、数・サイズに限りがありますので、青年の家のスキー一式をお借りになる場合はサイズ等をお知らせください。
スキーはグループ分けをして活動します。
積雪状況で内容が変わる場合があります。
- ◆ 申込方法 - 2月13日(火)までに下記までお申込ください。(キャンセルは2月14日までとします。15日以降のキャンセルは実費をいただきます。)
- ◎ 申込・問合せ先
公立小川原湖青年の家
〒039-2402 上北郡東北町大字大浦字道ノ下104-6
TEL0176-56-2393
FAX0176-56-5042
o-seinen@smile.ocn.ne.jp

県立八戸工科学院三沢校 平成19年度学生募集

- ◆ 募集科・選考日
電子機器科 / 20名 / 1年
溶接科 / 20名 / 1年
- ◆ 応募資格 - 離転職者で職業に必要な技能、知識を習得しようとする者
- ◆ 選考日 - 2月23日(金)
- ◆ 出願期間 - 1月4日(木)
~ 2月16日(金)
- ◎ お問合せ先 - 県立八戸工科学院三沢校
〒033-0043 三沢市千代田町四丁目140 369
TEL・FAX(兼用)
0176-53-5046

平成19年度三沢基地 モニター募集

- 航空自衛隊三沢基地では、基地周辺住民の方の中から三沢基地モニターを募集します。
- ◆ 募集年齢等 - 上十三地区の20~50代の男女(10名)
 - ◆ 委嘱期間 - 平成19年4月~平成20年3月までの1年間
 - ◆ 活動内容
各種行事及び職場見学等
大型ヘリコプター体験搭乘
アンケート調査及びモニター会議
 - ◆ 締切 - 平成19年2月28日(水)まで。
応募多数の場合は、選考の上ご連絡します。
 - ◎ 申込・問合せ先 - ハガキに住所・氏名・年齢・職業・電話番号を明記の上、〒033-8604三沢市後久保125-7航空自衛隊三沢基地渉外室広報班まで。
0176-53-4121
(内線3313)

第18回2級ホームヘルパー 養成講座のご案内

- ◆ 期間 - 2月2日(金)
~ 3月8日(木)
全日制通信講座により約1か月間で修了
- ◆ 応募資格 - 18歳以上の健康な方で男女、経験、学歴は問いません
- ◆ 定員 - 24名
- ◆ 受付 - 随時
(定員になり次第締切)
- ◆ 会場 - 楽晴会研修センター
(旧やまと旅館)
- ◎ 問合せ先 - 楽晴会TS学院
(三沢老人ホーム内)
0176-54-2534

戦没者遺児の皆様へ慰霊 友好親善事業のお知らせ

- (財)日本遺族会では、「戦没者遺児による慰霊友好親善事業の参加者を募集しています。この事業は、戦没者の遺児を対象として、父の戦没した旧戦地を訪れ、慰霊追悼を行うとともに、現地の方々と友好親善を行うことを目的としています。
- 参加費は、一律10万円(沖縄は5万円)で参加できます。平成18年度事業は、フィリピンとミャンマーで実施され、青森県では、個人負担となる国内での交通費と宿泊費に対する助成制度(社団法人青森県遺族連合会助成金)もあります。
- ◎ 問い合わせ先
(財)日本遺族会事業課事業係 (03-3261-5521
内線3656~3658)まで。
 - ◎ 申込・助成制度の問合せ先
(社)青森県遺族連合会事務局 (017-722-4819)



第20回ふるさと名物味まつりを開催

上十三地区の農村の優れた伝承技術及び農産加工品農産物を紹介するふるさと名物味まつりを開催します。

- ◆日時 - 2月17日(土) ~ 19日(月)の3日間
- ◆会場 - 十和田市とうてつ駅ビル1階プラザ
東北町からは、紫黒米栽培研究会が参加します。
- ◎問合せ先 - ふるさと名物味まつり実行委員会事務局NPOプロワークス十和田
080-5565-2575



設備貸与制度(割賦・リース)のご案内

中小企業の公的な支援機関である財団法人21あおもり産業総合支援センターでは、県内中小企業者の皆様の設備投資を応援するため、低利率(割賦損料：年利1.9%あるいは、2.3%、リース料：月額1.362%~2.982%)・固定金利で設備貸与制度(割賦・リース)を実施しております。

平成18年4月からは、連帯保証人が代表者のみの選択も可能になり、より利用しやすくなっております。

対象は、機械、装置、車両等(土地・建物は対象外)です。

設備の導入を検討されている方は設備投資課までお問い合わせください。

なお、制度の概要については、当財団ホームページからご覧いただけます。

- ◎問合せ先 - (財)21あおもり産業支援センター設備投資課
017-775-3234
<http://www.21aomori.or.jp/>

新春恒例！東北町上北地区

まける日

2月 3日(土)・4日(日)

※3日(土)は町民バスが運行しています。

- ◎お問合せ先
上北町商工会
☎0176-56-2335

製造事業所の皆さまへ

統計調査にご協力ください

平成18年工業統計調査を12月31日現在で行われています。
調査の実施にあたっては、昨年12月から今月にかけて調査員がお伺いします。
なお、調査票に記入していただいた内容については、統計法に基づき秘密が厳守されますので、正確なご記入をお願いします。

経済産業省・青森県・東北町

都母短歌会

文芸ギヤラリ

この家にかかる災ひ逃れんと
賜はりし札高くまつりぬ

松山 悦子

吹き抜けの窓より差し込む陽の光
ご来光のごと両手を合はす

乙供 洋子

ラジオより聞こゆるニュース道連れの
子らと歸らぬ悲しき旅よ

上崎ツヤコ

復活の盆踊り大会盛り上り
年の差忘れ今日は楽しむ

原田 榛子

大島を巡るボートに乗せし君
おぼろとなりぬ遠き日のこと

大池 トシ

あけぼの句会

初雪はふんわり石の上に降り

(節) 子

柏木は枯葉まとひて時を待つ

(チ) エ

ブランドの里芋もある夕餉どき

(祥) 子

啄木鳥の名前で宿の喫茶店

(テル) 女

初雪を払ひて始動郵便車

(信) 女

うつし世を浄めるごとき今朝の雪

(てる) 女

葉を洗ふ水刃のごとき雪催ひ

(和) 子

Statistics
統計

■町の人口《11月》

[]は、昨年同期との比較増減。
※()内は1月からの累計

男……10,008人[△162人]
女……10,561人[△143人]
計……20,569人[△305人]
世帯数… 6,953戸[46戸]
出生 …… 4人(134人)
死亡 …… 15人(201人)
転入 …… 21人(422人)
転出 …… 39人(635人)

■町の交通事故《11月》

()内は1月からの累計

人身事故……10件(73件)
負傷者……12人(79人)
死亡…… 0人(0人)

■町の火災《11月》

()内は1月からの累計

建物…… 0件(5件)
林野…… 0件(1件)
車両…… 0件(0件)
その他…… 0件(0件)

■救急車出場件数《11月》

()内は1月からの累計
45件(488件)

中部上北消防本部

中央消防署 TEL 0176-62-3141

上北消防署 TEL 0176-56-2119

東北消防署 TEL 0175-63-2520

平成18年11月届出分

TOHOKU
戸籍の窓

誕生

氏名	町名	保護者	氏名	町名	保護者
吉田 優月	上野	孝介	蛭沢 大我	大向	旗屋・琢磨
大坂 煌	新山	智也	吹越 清弥	甲地	清彦

結婚

氏名	町名	氏名	町名
向山 俊一	南町	島川 達哉	乙供本町
玉川 弘恵	三沢市	浜田 美幸	旭町
沼山 幹雄	蓼内		
小山田 未来	十和田市		

お悔やみ

氏名	年齢	町名	氏名	年齢	町名
蛭澤 春治	76	本町	蛭名 マツエ	86	旭町
蛭名 達男	70	上野	久保田 ふさ	82	寒水
佐々木 重太郎	77	徳万才	大久保 榮子	60	添ノ沢
尾形 義雄	81	菩提寺	永峯 松之助	99	上板橋
指方 保彦	54	旭町	半崎 ヨシノ	92	乙供本町
阿部 ソワ	79	才市田	木村 惣八	82	中村

あなたも参加 わたしもやります “交通安全”

県内の交通事故概況

(平成18年)

青森県交通対策協議会

	11月中	年累計	死者の状態	飲酒運転による死者	
				4人	(-4)
発生	643件 (-137)	6,708件 (-820)	シートベルト	高齢者の死者 ~65歳以上の人~	
				38人	(-1)
死者	5人 (±0)	54人 (-23)	シートベルト	自動車乗車中の死者	
				17人	(-23)
傷者	765人 (-227)	8,513人 (-973)	シートベルト	非着用死者	
				9人	(-7)
				着用していれば 助かったと思われる人	
				3人	(-4)

※()内は前年対比。累計は1月から。速報値のため後日変更することがあります。

毎月1日は「県民交通安全の日」・15日は「高齢者交通安全の日」

田ノ沢

我が家のアイドル

赤平



二男〔1歳〕 **こうき 航輝** くん

パパ 沼田 勝昭 さん
ママ 友子 さん

何よりも健康で思いやりのある子に育ててほしい。



長男〔1歳〕 **りゅうま 龍真** くん

ママ 檜崎 夕加里 さん

いっぱいお友達を作って、みんなと仲良く遊んでね。
思いやりのある優しい子に育てて下さい。



◀犬の胸に聴診器をあてて
心音を聞く児童たち

第一小で動物ふれあい体験

動物とふれあい 生命の大切さを学ぶ

第一小学校（柿崎茂校長）は12月12日、動物ふれあい訪問活動を行い、同校の1、2年生児童24人が動物とふれあいました。

これは、動物とのふれあいを通して、生命の大切さを子どもたちに学んでもらおうと青森県動物愛護センターの協力を得て行われたものです。

児童たちは、犬やうさぎを抱っこしたり、聴診器を使って心音を聞いたりして「かわいい」「あったかい」と大喜び。動物とのふれあいを通じて「生命」を感じ、大切さを学んでいました。

▶うさぎに直接ふれて
「あったかい！」と大喜び



動物たちとふれあい優しい笑顔を見せる児童たち

